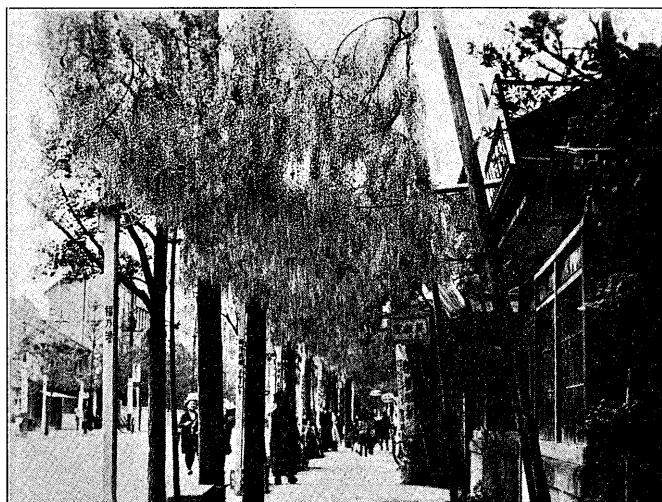


日本ノふぢ、支那ノふぢ、野田ノふぢ

同上（側面カラ見たル藤棚）

（昭和七年五月十日岡田重雄君撮影）



○日本ノふぢ、支那ノふぢ、野田ノふぢ

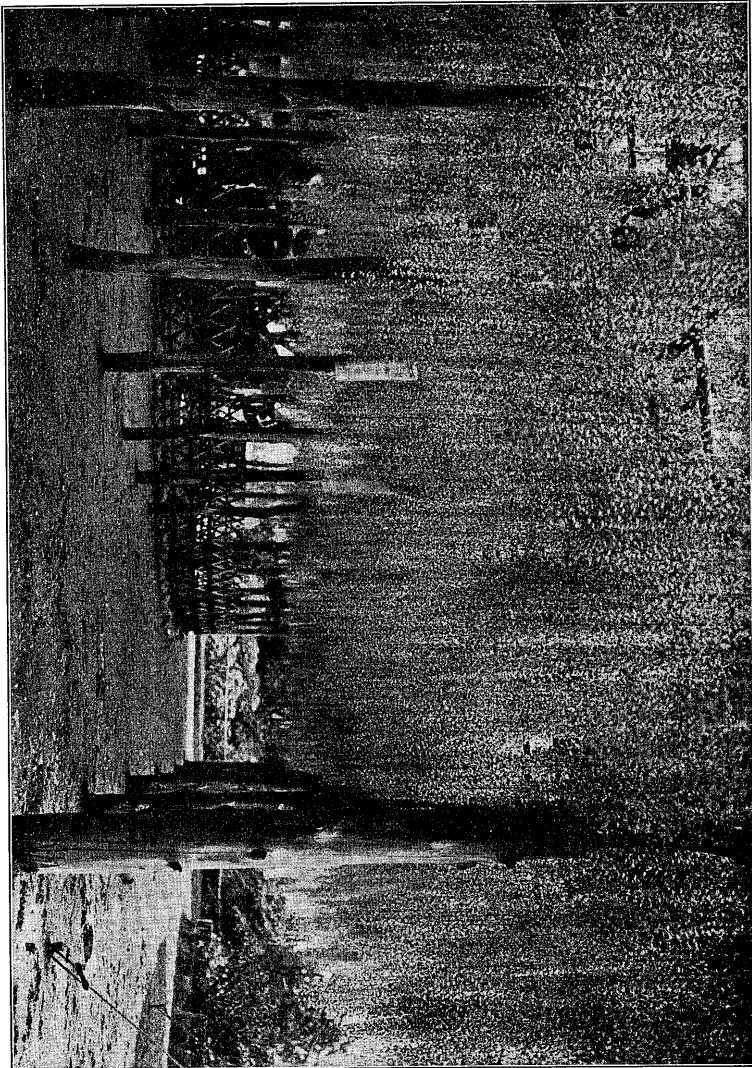
牧野 富太郎

我が「斷枝片葉」ノ稿中へふぢノ事ヲ書イタ處へ別項ニアル朝比奈先生ノ「藤ノ街路樹」ノ記事ヲ拜見シタノデ縁ノアル右ノ小記事ヲ便宜此處ニ移シテ見タ

我邦ノふぢニハ二種アツテ一ハ普通ノふぢデアリ一ハやまふぢデアル、共ニ野生モアルガ通常ハ觀賞品トシテ或ハ庭園ニ植エラレ或ハ盆栽トシテキル、然シやまふぢノ方ハ之レヲ見ル事ガふぢヨリハ少ナイ、ふぢハ其學名ヲ *Wistaria floribunda* DC. ト云ヒやまふぢハ *W. brachybotrys* Sieb. Et Zucc. (泰西ノ學者ハ往々名トシテキレドモ其レハよくナイ) ト稱スル、此ニ寫真ヲ掲ゲシ有名ナ埼玉縣（武藏）粕壁町牛島ノ品ハ即チ前種ノふぢニ屬スル

此やまふぢハ西日本ニハ丘阜上ニ野生スレドモ東日本ニハ之レヲ見ナク唯栽培品ガアルノミデアル、然シ普通ノふぢノ方ハ殆ンド全國的ニ互ツテ野生ガアル、やまふぢハ其學名ノ種名ガ如實ニ示ス如ク其花穗ガ短カイガ然シ花ハ却テ大キク、花穗上ノ苞（早ク謝落スル）ハふぢノ其レヨリモ闊イ、ソシテ葉ガ厚ク且

日本ノふぢ、支那ノふぢ、野田ノふぢ



埼玉縣武藏相模町牛島ノ藤 (*Wisteria floribunda* DC.)

(寺門 純雄 明治 撮影)

ツ毛カ多イカラ葉バカリ見テモ其品タルの知スルコトガ出来
ル、ふぢノ方ハ花穂長ク其最モ長イモノハ數尺ニ達スルノガア
ル、花ハ小ク葉ハ薄ク毛ガ少ナイ、花期ハやまふぢガふぢニ先
タチふぢハやまふぢノ次ニ開ク、此兩種共ニ其母種ハ紫花ナレ

日本ノふぢ、支那ノふぢ、野田ノふぢ

ドモ何方ニモ白花ノ園藝變種ガアツテ其やまふぢノ方ノモノヲしらふぢ *W. brachybotrys* Steub. Et Zucc. var. *alba* Mill.) ト云ヒふぢノ方ノモノヲしらふぢ (*W. floribunda* DC. var. *alba* Rehd. Et Wils.) ト稱スル、右ノやまふぢノ白花變種ノしらふぢヲ *W. venusta* Rehd. Et Wils. ト呼ベドモ是レハ不用ナ學名デアアル、其レハやまふぢヲ *W. brachybotrys* Steub. Et Zucc. ダト解シ得テキル人ナレバ誰レデモ此說ニハ賛成セネバナラヌガ此レヲふぢノ異名ダト考ヘル人ハ勢ヒ *W. venusta* Rehd. Et Wils. ヲ建テナケレバナラヌハめトナリ、ソシテ其紫花品即チ普通ノやまふぢヲ *W. venusta* Rehd. Et Wils. var. *violacea* Rehd. トセネバナラヌヤウニナツテキルノハ當サニやまふぢタルベキ *W. brachybotrys* Steub. Et Zucc. ノ認識不足カラ來タ結果デアアル

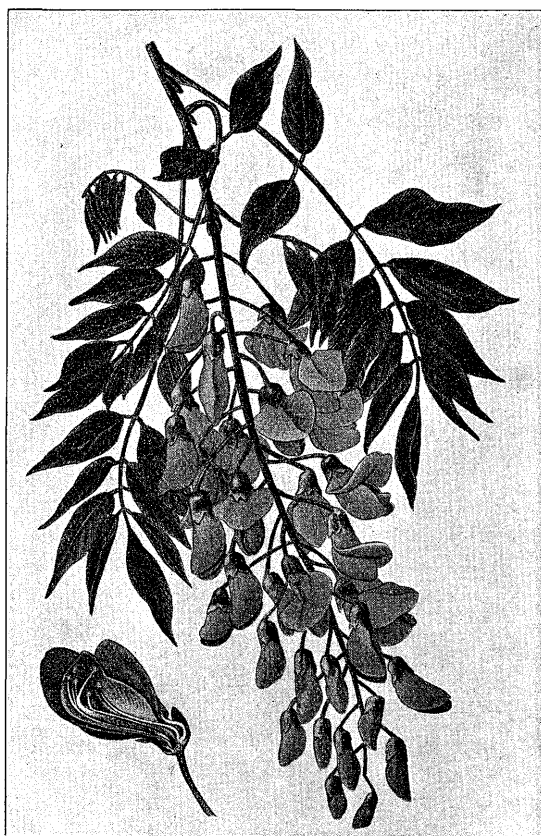
ふぢニハ尙幾多ノ園藝變種ガアツテ其中ノ八重咲ノモノヲやへふぢ一名なんばんふぢト稱ヘル、又もゝいろふぢガアル即チ Var. *rosea* Rehd. Et Wils. デアル、此もゝいろふぢニ似タあけぼのふぢガアル即チ Var. *alborosea* Makino. デアル、Var. *macrobotrys* Rehd. Et Wils. ハ花種ノ長サ三四尺モアル者ヘ附ケタ名デアレドモ此レハ特立シタモノデナク單ダ極端ニ長キ花穗ノ品デ普通品ト相連續シ其間截然タル區別ノアル品デハナイカラ或ハ之レヲ forma トシ得ベキモ之レヲ獨立ノ變種トスル事ハ出來ナイ

ふぢハ其變種ヲ併セテ皆莖ガ右卷キナレドモやまふぢノ方ハ母種モ變種モ共ニ左卷キデ此兩種ハ同屬デアリナガラ其卷キ方ハ全然正反對デアルカラ假令其花葉ナキ單ナル莖ヲ見テモ此點ニ注意スレバ此兩種ヲ區別スルニ敢テ困難ヲ感ジナイ、是レハ此兩種ノ特別ナ性質デ即チ所謂其特徵デアアル

普通ノふぢニ野田ふぢノ名ガアルガ是レハ大阪ノ野田(下條ヲ見ヨ)ノ地名カラ來タモノデ同處ノふぢハ皆此種デアアル

我邦ノ學者ハ從來誰レモ日本ノふぢヲ紫藤ダトシテキタガ此紫藤ハ支那產ノしなふぢ(西洋人ハ俗ニ Chinese Wistaria ト呼ンデキル)即チ *W. sinensis* Sweet. ノ漢名デ我日本ノふぢ(西洋人ハ俗ニ Japanese Wistaria ト

呼ンデキル)ニ適用スベキモノデハナク我邦ノふぢニハ使用スベキ何ノ漢名モ存シナイ、此しなふぢハ疾クニ



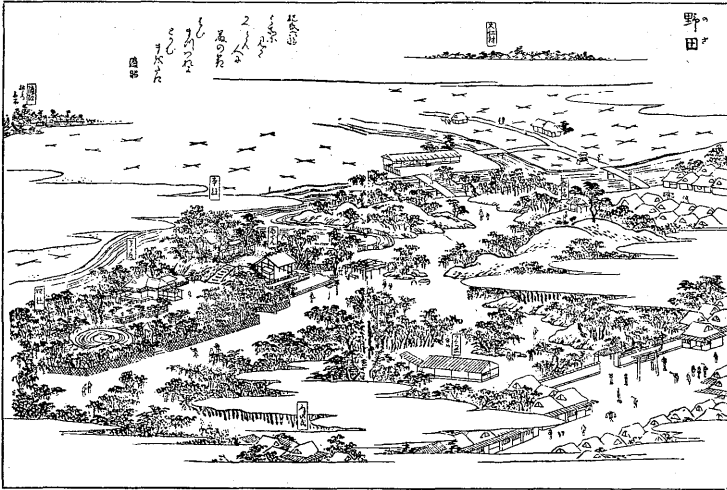
紫藤、しなふぢ (*Wistaria sinensis* SWEET.)
(E. STEP.)

同國カラ西洋ヘハ渡ッテキテ向
フノ書物ニハ能ク出テキルガ却
テ近隣ノ我邦ヘハ來テキナイデ
從テ世間ニ之レヲ見ル事ガナ
イ、然シ先年私ガ肥前ノ長崎カ
ラノ一標品ヲ得タ事ガアッタガ
其レガ確カニ其品デアッタト記
憶スルユエ多分同地ニハ其渡來
品ガアルデハナカラウカト思惟
スル、此しなふぢハ宛カモ我ふ
ぢトやまふぢトノ中間ニ立ツラ
シキ花穂ト花トヲ有シテキルヤ
ウニ見受ケラル、品デアル、今
Edward Step氏著ノ Favourite
Flowers of Garden and Green-

house ト題スル書カラ此ニ其圖ヲ轉載シテ示ス事ニシタ

野田ノふぢ 前條ニのだふぢノ名ヲ記シタガ此のだふぢノ名ノ起ッタ根元ハ攝州野田ノ地名カラ來タモノデ此
處ハ原トふぢノ名所デアッタ、往時ハ大阪郊外ノ一村デアッタガ今日ハ市内トナリテ人家ノ間ニ介マリ其中ニ

日本ノふぢ、支那ノふぢ、野田ノふぢ



時往ノ景野田ノ名所ノふぢ

(『攝津名所圖會』卷之三、縮圖)

只僅カニ一ノ空地ヲ存シテ其處ニ尙一小祠ト若干ノふぢガ遺ツテキルノヲ私ハ今カラ十餘年前ニ親シク見分シテ在リシ昔ヲ偲ンダ事ガアッタ、又其處ニ今モ遺ツテキル一軒ノ舊家(藤井氏カ)ガアツテ往時ハ「野田ノ逆さ藤」ト唱ヘテ其家ニ至リ晝間縁側ノ雨戸ヲ締メ其節穴カラ逆サニ障子ニ映ツル色其マヽノ藤花ヲ眺メ不思議ガツテ興ジタト云フ事ガアッタト聞イタ、『攝津名所圖會』卷ノ三ニ此ふぢニ就テ次ノ記事ト其當時ノ景色トノ圖ガアルカラ此處ニ轉載シテ見ヤウ

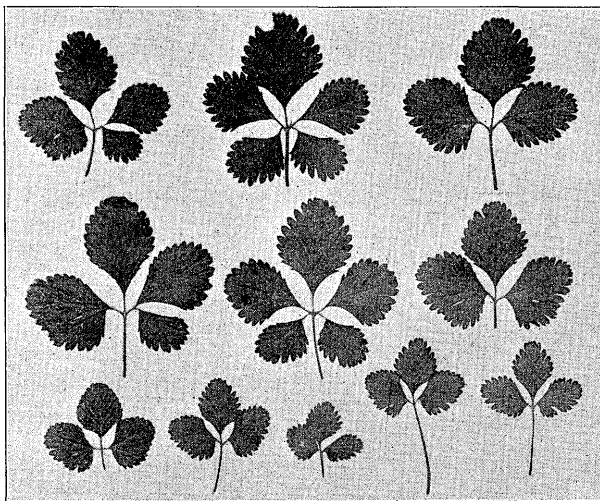
野田藤 春日の林中にありむかしより紫藤名高くして小歌節にも吉野の櫻野田の藤と唄へり彌生の花盛には遠近こゝに來て幽艶を賞す茶店貨食店とこゝに出して販ふなり

新類題 難波かた野田の細江を見わたせば

藤波かゝる花のうきはし 西園寺中將公廣卿

貞治三年四月藤波盛の頃足利將軍義詮公住吉詣のとき此地へ立寄らせ賜ひ池の姿を玉川と準へ和歌を詠じ玉ふ住吉詣の記に見へたり

いにしへのゆかりを今も紫の



やぶへびいちご (*Duchesnea major* MAKINO.)
ノ葉ノ多型ヲ示ス

ふし波かゝる野田の玉川

將軍義詮公

同書ニ此野田藤ノ記事ノ前ニ並ンデ

春日祠

野田村林中にあり當所藤によりて藤原の祖神を祭るならんか

ト記シテアルガ此祠ガ多分前項ノ條下ニ掲ゲタ私ノ見タ一小祠デアラウト思フ

此野田ハ上ノ如キ來歴ヲ有シテキルノデ此地ハ確カニ之レヲ保護シテ其泯滅ヲ防グベキ必要ガアルト思フ、乃チ是レハ史蹟名勝天然記念物係リノ方ノ須ラク一顧スベキ地點デアラネバナラヌト痛感スル

○植物妖怪漫話 (第二)

久 内 清 孝

●やぶへびいちご (*Duchesnea major* MAKINO.) ノ葉ガ三全裂デアアルコトニ異議ヲ唱ヘル世人ハナイデアラウシ、マタ其兩側ノ葉ガ或者ハ淺ク或者ハ深ク二裂シテ居ルコトモ之ヲ否定スル人ハナカラウト思フ、然シ之ハ表向キノ場合丈ノコトデアッテ自然ニハ裏ノ裏ガアルコトヲ忘レテハナラナイ、即チコノ側葉片ノ二裂ガ完全ニ深裂スレバ鳥趾狀ニナリ更ニ柄部ガ完全ニ分レ、バ五葉片ニナツテ來ルコトガ挿圖デ證明出來ルト信ズル

某個體ニ於ケル觀察ニヨレバ幼稚ナル葉ハ三全裂デアアルガ